

2021年8月5日

報道機関各位

NPO 法人 ETIC. (エティック)

＜ZOOMで取材可能 8/11（水）19:00～21:00＞

**若手起業家が地方創生 SDGs に寄与する事業アイデアを発表**

**行政・ビジネスセクターからの参加者と共に実現可能性を探るオンラインイベント開催**

～地方での起業人材育成プログラム「ローカルベンチャーラボ」の一環として～



NPO法人エティック\*<sup>1</sup>（東京都渋谷区）が運営する起業人材育成プログラム「ローカルベンチャーラボ」は、8月11日（水）、2021年度の同プログラムを受講中の22～35歳の若手起業家5名が、「持続可能な地域づくり」に資する新事業のアイデアを、行政およびビジネスセクターからの参加者約30名に向けて発表・意見交換するオンラインイベントを開催します。

本イベントは、起業家が自らの事業計画を磨き上げる場であるとともに、発表するアイデアを地域の活性化や課題解決に活かしたい自治体のニーズとのマッチングを狙って企画したものです。さらに、地方でのビジネスチャンスをつかむ都市部企業に対し、地方の現場のリアルな声に触れる機会を提供することも意図しています。個人起業家と行政・企業セクターの有機的な連携を通して、地方創生SDGsを目指す取り組みとして、ぜひご取材ください。

発表者5名は、それぞれ宮崎県高千穂町、大阪市生野区、石川県七尾市、岡山県西粟倉村を活動フィールドとしつつ、高齢者福祉や地域教育、関係者人口創出などをテーマに新事業創出に取り組んでいます（添付参照）。また、発表を聞く参加者は、行政セクターから岡山県西粟倉村、宮城県気仙沼市（ローカルベンチャー協議会\*<sup>2</sup>参画自治体）、企業セクターから、株式会社パソナ東北創生、スタンダードチャータードなどが参加予定です。

当日は起業家による発表の後、参加者全員が起業家ごとのグループに分かれて意見交換（アイデアブレスト）を行います（ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使用。報道機関の方はご希望の起業家のルームにて取材可能です）。起業家は参加者からのフィードバックで計画を練り上げるとともに、行政・企業側のニーズと合致すれば次の具体的なステップへの足掛かりをつかむことができます。

なお、イベントを主催する「ローカルベンチャーラボ」は2017年に開講。以来5年間で全国から270名以上が参加、うち152人が本プログラムを通して新事業を立ち上げ、地域経済へのインパクトは3億円にのぼります。2021年度（第5期）より、スタンダードチャータード財団による資金提供を受け、世界の経済的不平等解消のためグローバルイニシアチブ「Futuremakers\*<sup>3</sup>」に参加。本年度のローカルベンチャーラボでは、コロナ禍で影響を受けた若手起業家200名に対し、学びの機会や全国の起業家ネットワークへのアクセスの機会を提供します。

＜お問合せ・取材申込み＞ ローカルベンチャーラボ 事務局

NPO 法人 ETIC. (エティック) 担当：桐田

TEL 050-1743-6743 FAX 050-3606-6347 E-mail local-info@etic.or.jp

## 参考資料 1

### 【8/11 (水) 19:00～21:00 タイムテーブル (※当日変更の可能性あります)】

- 19:00 – 19:15 オープニング
- 19:15 – 19:40 起業家プレゼン 5名
- 19:40 – 20:15 アイディアプレスト (ご希望のブレイクアウトルームにご参加いただきます)
- 20:20 – 20:30 共有・クロージング
- 20:30 – 21:00 懇親会

### 【ビジネスアイデア発表者プロフィール一覧】

#### 茨木いずみ (いばらき・いずみ) / NPO 法人グローバルアカデミー 事務局長 (30代)

宮崎県高千穂町出身。大学在学中にパリ政治学院へ交換留学。卒業後は株式会社ベネッセコーポレーションに入社、DM 営業に従事。その後岩手県釜石市で復興支援員(釜援隊)として、まちづくり会社の設立や、組織マネジメント、馬文化再生プロジェクト等に携わる。2015年3月にNPO 法人グローバルアカデミーを設立。事務局長を務める。2021年3月、東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。「地域に人が集まる・戻ってくる教育を作ること」を軸に、地域教育、まちづくりの事業に取り組む。

#### 鯉谷雅至 (こいたに・まさし) / 社会福祉法人浪速松楓会 業務執行理事 (30代)

新卒で三井不動産レジデンシャルに入社。新三郷、西東京エリアにおける再開発事業に従事したのち、大阪市生野区で高齢者福祉事業を主軸とする家業の社会福祉法人に入社。高齢者が施設に閉じこもるのではなく地域に居場所、役割を見出せる事業を作ることを目指す。

#### 谷一浩平 (たにいち・こうへい) / NOTORN (ノターン) 代表 (20代、大阪大学在学中)

石川県七尾市生まれ。大阪大学に通いながら、出身地の七尾市で高校生と地域外の大学生が交流してキャリアを描くためのプログラムを開始。今年4月から休学し、若い世代が地域に関われる仕組みを作ることを目指して能登地方出身の若者コミュニティ NOTORN (ノターン) 創設、能登出身の学生100名に食料支援、高校の探究授業サポートなど、地元出身者の関係人口創出を目指した取り組みを中心に活動中。

#### 西岡貴史 (にしおか・たかし) / 株式会社たびふぁん 代表 (20代)

温泉ソムリエ、国内旅行業務取扱管理者。株式会社リゾートワークスの立ち上げに参加後、「次世代の旅を創造する」をビジョンにたびふぁんを創る。2021年02月、NEXs tokyo 会員採択。神奈川県育ち22歳。コロナを機に旅行の在り方が変わる中で、新しい旅行の形を提案するサービス開発を目指している。

#### 村山智美 (むらやま・さとみ) / 野点屋 3939、西粟倉小屋プロジェクト「24cafe ブルーマン」(30代)

東京都江戸川区出身。実家が商店街沿いにあり、活気が失われていく商店街を見て、地域活性化に興味を持つ。地域での面白い取り組みを探している中で、ローカルベンチャー発祥の地と言われる岡山県西粟倉村に出会う。役場にてSDGs推進のサポートを行いながら、村にある森林資源を活かして、地域内外の人が繋がっていく循環づくりをする事業立ち上げを目指している。

## 参考資料 2

**\*1 NPO法人ETIC. (エティック) について <https://www.etic.or.jp/>**

1993年設立、2000年にNPO法人化し、人口減少、経済縮小、超高齢化社会における都市と地方の関係や、日本や世界の未来を考え、実践し、支え合い、学びを共有し、また次の未来を描く、未来をつくる人たちのコミュニティづくりの活動を推進しています。日本初の長期実践型インターンシップの事業化や若手社会起業家への創業支援を通じこれまで約9,700名の若者たちが変革・創造の現場に実践者として参加、1,600名を超える起業家を輩出。またその仕組みを全国70の連携組織へ広げています。

**\*2 ローカルベンチャー協議会について <https://initiative.localventures.jp/>**

全国 10 市町村が連携し、地方創生の核となる「地方での起業・新規事業（ローカルベンチャー）」を創出するためのプラットフォームとして、事務局を認定 NPO 法人エティックとし 2016 年秋に誕生しました。国の地方創生推進交付金の対象事業として、2020 年度までの 5 年間で新規起業・事業創出の件数 274 件、新規起業・事業創出による売上増約 58 億円、起業型・経営型人材の地方へのマッチング 400 人という結果を残しています。令和 3 年度地方創生推進交付金「自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業～官民共同・地域間連携による企業版関係人口創出・右腕人材マッチングプラットフォームの開発 ～」に採択され、現在は岡山県西粟倉村、北海道厚真町、宮城県気仙沼市、島根県雲南市、愛媛県久万高原町、宮崎県日南市の 6 幹事自治体で、3 年間の事業を実施中です。

**\*3 スタンダードチャータードのグローバルイニシアチブ「Futuremakers」について**

**<https://www.sc.com/en/sustainability/investing-in-communities/futuremakers/>**

スタンダードチャータードが展開するコミュニティ支援のグローバルイニシアチブとして格差社会における課題に対し不利な立場にある若者、特に女性や視覚障害者が新しいスキルを身につけ、就職や起業のチャンスを高めるための支援等を行っています。2020年には、35のマーケットで16万8,000人以上、2019年から2020年の間に36万6,000人以上の若者が当イニシアチブに参加しました。「ローカルベンチャーラボ」は、2021年度より英ユースビジネス・インターナショナルを通じ、「Futuremakers」に参加しています。

ローカルベンチャーラボでは、以下についてのご取材もアレンジできます。お問い合わせください。

- 起業家・地方自治体・企業の連携事例について
- ローカルベンチャーラボ卒業生・関係者らの各地域での活動について（活動詳細については、こちらをご参照ください：<https://localventures.jp/archives>）
- ローカルベンチャーラボ関係者における、地方での起業の現状について